

「書物・出版と社会変容」研究会 活動記録

- ・開催日・場所 報告者・報告タイトルなど。
- ・第一回〜第三十七回までは第一号〜第五号参照。

第三十八回 二〇〇八年二月二日 一橋大学佐野書院

- 湯浅真人 「近世後期庄内地域・名主佐藤家の書物ネットワークに関する一考察―「五峯館蔵書」と「書物貸預記并書物注文代記」を中心に」
- 木場貴俊 「「怪異」と禁制―『本朝神社考』「僧正谷」を手がかりにして」

第三十九回 二〇〇八年五月三十一日 一橋大学佐野書院

- 吉田麻子 「北信州の気吹舎門人と出版―大和屋（掛川）吉兵衛とその周辺」
- 中川和明 「幕末平田塾と地方国学の展開―津軽国学を中心に」

第四十回 二〇〇八年七月五日

- 山本英二 「温泉と貸本―城崎温泉を事例に」
- 鈴木俊幸 「清水家文書にみる明治期安曇郡の書籍文化」

第四十一回 二〇〇八年十月四日 一橋大学佐野書院

- 河内聡子 「雑誌『家の光』の普及過程に見る地域メディアアの展開」
- 曾根原理 「小宮豊隆と個人文庫」

第四十二回 二〇〇八年十一月一日 愛知県西尾市岩瀬文庫

- 加藤弓枝 「「書籍講」の成立とその背景―近世後期非蔵人による営みを中心に」
- 松尾由希子 「近世後期尾西在村国学者の蔵書にみる教養とネットワーク」
- 高橋章則 「狂歌が結ぶ「知」と地域―名古屋・仙台」